様式2

令和2年4月1日

令和2年度　評価計画及び自己評価

（計画・中間・最終　）

広南中学校区　校番　2　学校名　呉市立広南中学校

a　学校教育目標	〈広南学園〉 未来を創る 「誇りを持って故里を語り，受け継ぎ，発展を担う志と力を育てる教育の創造」	b　経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉 （学校の使命）	夢と志を持ち， 社会に貢献する人材を育成する
			〈ビジョン〉 （将来の学校像）	○深い学びの精神と感謝の気持ち，社会貢献への気概をもつ児童生徒を育て，地域から信頼される学校 ○地域文化の拠点として地域の活性化に貢献する学校

c　中期経営目標を踏まえた現状（進捗状況）と今年度の重点	平成27年度から「学びの変革」パイロット校の指定を受け，新学習指導要領の方向性を踏まえた教育の具現化を進め，特色ある教育課程および学校文化（礼節・挑戦・創造・貢献）が持続可能となる組織体制を構築してきた。今年度は，昨年度の取組を深め，TPOを意識した言葉磨きとICTの効果的な活用と，道徳をはじめ防災やICTの貫きカリキュラムの実践・改善に取り組む。また，世界の人とつながる「未来貢献ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ」の開発・実践を通して，協働の力を養いたい。
育成を目指す資質・能力	挑戦・探究　責任・使命　感謝・貢献　協力・協働　知識・技能　情報収集・判断　思考・表現

評価計画（中期経営目標を設定してから　1　・　②　・　3　年目）						自己評価					
重点	d 中期（3年間）経営目標	e 短期（今年度）経営目標	f 目標達成のための方策（こんなことをして達成します）	g 指標（効果を見とる目安）	h 目標値	9 月			1 月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
★★★	貫 9年間を通して，Society5.0に必要な学力を育成する	貫 「主体的・対話的で深い学び」を充実させるための授業改善	・各教科で，三角ロジックとICTを活用したグループ別研究授業を1回行う。 （振り返りの時間を確保するための工夫）	・「三角ロジック」「ICT」の活用についての教師アンケートの肯定的評価の割合 ・生徒アンケート「授業では理由を明らかにして発表している」の肯定的評価の割合 ・授業観察者の「評価シート」による評価　A以上の割合	90% 80% 80%						
		横断的・総合的なカリキュラムデザインおよび評価の工夫による学びの質の向上	・貫きカリキュラムのブラッシュアップ及び新たなカリキュラムの開発を行う。 ・S問題及び評価活動の工夫を行う。	・「課題発見・解決学習」についての生徒アンケート肯定的評価 （R1本校　85%　県65%）	90%						
★★	貫 礼節と挑戦心を身に付け，健やかでたくましい心と体を育成する	生徒の相互指導能力の向上による学校の伝統文化の継承・発展	・生徒自身の課題とするために生徒会からの自主的な活動とする。 ・伝統の継承・発展に向けた生徒会の自律的な活動へ教師の立場から組織的に支援する。	・「生徒会，委員会の提案する活動に積極的に協力しています」についての生徒アンケート肯定的評価	80%						
		不登校・低学力等の課題への組織的な対応能力の向上	・生活ノートや教育相談などで，個々の生徒の指導方針を明確化し，個別指導と個別支援を組織的に進めていく。	・「毎日生活リズムを整えて生活しています」についての生徒アンケート肯定的評価 （R01　82%） ・不登校生徒数の減少 （R01　1人）	85% 1人以下						
★	貫 地域に感謝・貢献し活力を生み出す学校をつくる	・地域の人材活用及び生徒の地域社会で貢献・協働できる場の充実	・7・9広南防災の日を設け，地域，学校，生徒による防災学習を1回実施する。 ・広南避難プログラムを改善する。（旧小坪小の避難所運営） ・総合的な学習の時間で各学年地域で挑戦する場を設定する。	・「地域貢献」についての生徒アンケート肯定的評価（R01　98%） ・「地域との関わり」についての保護者アンケート肯定的評価（R01　100%）	90% 90%						
		貫 ・活動の充実に向けた，子供と直接向き合う時間の確保（業務改善）	・教職員のタイムマネジメント力の向上を図る。（時間外勤務総量の自己調整） ・モジュール校内研修の実施。（職員朝会の活用）	・「子供と直接関わる時間が確保されている」教職員アンケート肯定的評価 （R01　71．5%） ・時間外勤務時間の縮小 （R01　45時間以上/月の教員数　3人）	75% 0人						

【k：評価】
A：100≦（目標達成）　B：80≦（ほぼ達成）＜100
C：60≦（もう少し）＜80　D：（できていない）＜60